**レガシー・マシン** **パーペチュアル エヴォ**

**MB&Fの作品は15年間にわたって、身につける人を想像上の地図にしか存在しない場所へと誘ってきました。宇宙船から始まり、深海のクラゲにいたるまで、マキシミリアン・ブッサーのマシンは多元的な宇宙の地図を描き出します。「エヴォ」ラインは、2020年に初のLMパーペチュアル エヴォを発表し、大きな進化を遂げました。着用者は、アクティブなライフスタイルの舵を取り、人生の地図を描き出します。時計を置いていく必要はありません。**

LMパーペチュアル エヴォは当初、ジルコニウム製の3つの限定モデルが発表され、その後、グリーンCVDコーティングが施された文字盤プレートを備えたチタン製モデルが登場しました。2024年、MB&Fはグリーンの前モデルに代わり、同じ高耐久性チタンケースに合わせたアイシーブルーの文字盤プレートを新たに発表します。すべてのエディションにはぴったりとフィットする一体型ラバーストラップを採用し、これまでのMB&Fマシンの中で最もスムーズな装着感を実現しています。

直径44mmのケースはジルコニウム製またはチタン製。これらは現代的なメタルで、その性質はステンレススチールを凌駕します。開放感とこの上ない明るさを強調する新しいケースプロファイル。特別に開発された一体鋳造の緩衝装置「フレックスリング」を備えた、これまでになく堅牢なマシンがMB&Fから登場します。ステファン・マクドネルにより設計されたLMパーペチュアル エンジンは賞も受賞したパーペチュアルカレンダー。従来のシステム構造に代わる革新的な機械処理装置を採用しています。

MB&Fコレクションは、複雑機構と秀逸な計時メカニズムをいくつも採用してきました。しかし、名声、伝統、革新を組み合わせるという点においては、2015年に発表されたレガシー・マシン パーペチュアルはMB&Fの時計製造のノウハウの頂点を極め、いまだその右に出るものはありません。

直径は44mmで2015年モデルのまま変更されていませんが、新しいエヴォのケースのデザインは、ベゼルのない構造が特徴で、ドーム型サファイアクリスタルがケースに直接融着されています。カレンダー表示の見やすさと、映画のようなエンジンコンポーネントの遊び心との調和を強調する、開放感がさらに高められたLM パーペチュアル エヴォのデザイン。MB&Fの代名詞である宙に浮くようなテン輪がその上に配されています。より大きな表現を持つLMパーペチュアル エンジンのデザインを再構成するのは簡単ではありませんでした。構造の強度を維持しつつも高さと直径の比率を抑えるという、機械的には相反する目的を達成するようにサファイアクリスタルの形状を新たに計算する必要がありました。さらにLMパーペチュアル エヴォをベゼルから解放するには、サファイアクリスタルとケースの間に高度な熱接合システムを用いなければならなかったのです。

パーペチュアルカレンダーを調整するための従来は円形だったプッシャーは、より大きいダブルスプリングの長方形のアクチュエーターに変更され、快適なタッチで調整しやすくなりました。LMパーペチュアル エヴォはねじ込み式リューズを採用し、80mの防水性能を実現しています。ねじ込み式リューズの実装に関する小さいながらも重要なディテールとして、巻き真のクラッチがあります。プッシュして締めるとリューズが巻き上げ機構から外れ、手動で主ゼンマイを巻きすぎる可能性がなくなります。

LMパーペチュアル エヴォに加えられたもう1つの新しい要素は「フレックスリング」（FlexRing）です。これはケースとムーブメントの間に据えられたリング状の緩衝装置であり、縦横両方向の衝撃から保護します。一体鋳造でステンレススチールを機械加工した緩衝装置は、パーペチュアルカレンダーに優れた堅牢性を与えます。パーペチュアルカレンダーはクラシシズムやエレガンスを連想させる機能ですが、あらゆる高度な複雑機構の中でもこれほど実用的で便利なものはありません。

ステファン・マクドネルは、MB&Fのパーペチュアルカレンダーの再設計に着手するにあたって複雑機構の基礎的な機械装置全体を見直したシステムを提案しました。LMパーペチュアルは、多層ディスクからなる「機械処理装置」を使用しています。これは1ヶ月のデフォルト日数を28日とする画期的な処理装置です。論理的に、すべての月に28日以上あるためです。それに各月に応じて追加の日数が加算されます。こうすることで各月の正確な日数が確実になり、日付が誤ってジャンプする可能性がなくなります。日付の切り替え中にはクイックセットプッシャーが内蔵の安全装置により接続解除されます。日付の変更中にプッシャーが誤って作動した場合でもムーブメントが損傷するおそれはありません。

デザイン、技術、エスプリのすべての面で、レガシー・マシン パーペチュアル エヴォは、あなたとMB&Fとのストーリーを進化させてきたのです。

LMパーペチュアル エヴォはスポーツウォッチではありません。人生をともに歩む時計なのです。

**レガシー・マシン** **パーペチュアル エヴォの詳細**

**カレンダーの計算**

従来型パーペチュアルカレンダーは通常、既存のムーブメント上に取り付けられた複雑機構からなるモジュールです。カレンダーの表示は、複雑機構の上部を横切って中央を通過する長いレバーによって同期されます。日付が変わると、この長いレバーは前後に移動して適切なコンポーネントや装置に情報を伝えます。この従来のシステムはレバーとコンポーネントの相互作用が美的である一方、きわめて扱いが難しく、レガシー・マシン パーペチュアルのようなものが機械的に成り立たなくする制約を、いくつかの重要な面でムーブメント構造に加えます。

ステファン・マクドネルによりクリエートされ、2015年に発表されたLMパーペチュアル エンジンは、現代の時計製造の世界に存在する最も革新的なパーペチュアルカレンダーシステムの1つです。

従来型システムでは、パーペチュアルカレンダーはすべての月には31日あるとデフォルトで想定しています。31日未満の月の終わりに、機械装置は余分な日付を早送りして新しい月の1日目となります。日付の切り替え中に操作や調整を行うと、メカニズムが損傷してメーカーによる高額な修理が必要になることがあります。パーペチュアルカレンダーの出発点をすべてなしにして、日付の切り替え中にジャンプまたはスキップすることもできます。これで何年もの間、あるいは数十年もの間、調整する必要がなくなります。

レガシー・マシン パーペチュアルは、多層ディスクからなる「機械処理装置」を採用しています。これは1ヶ月のデフォルト日数を28日とする画期的な処理装置です。論理的に、すべての月に28日以上あるためです。それに各月に応じて追加の日数が加算されます。こうすることで各月の正確な日数を確実なものにし、「早送り」する余分な日がないため日付が誤ってジャンプする可能性がなくなります。

従来のパーペチュアルカレンダーのメカニズムでは、ユーザーは正しい月と年に到達するまで最大47か月間スクロールする必要があったのに対し、この機械処理装置はプラネタリーカムを使用して年をすばやく設定でき、月と年が閏年の4年間のサイクルで正しく表示されます。

機械処理装置は、日付の切り替え中は内蔵の安全装置でクイックセットプッシャーの接続を解除でき、日付変更中に損傷するおそれはありません。

2015年、宙に浮くようにホバリングするテンプをエンジン背面の脱進機に接続する、世界最長のテン輪のピニオン（テン真）を備えたレガシー・マシン パーペチュアルが発表されました。この技術的偉業はその後、MB&Fコレクションの他の作品レガシー・マシン スプリットエスケープメントにも取り入れられています。

**レガシー・マシン** **パーペチュアル エヴォ**

**技術仕様**

**レガシー・マシン パーペチュアル エヴォは、5つのバリエーションで発売されています：**

**- ジルコニウム製：オレンジのCVD文字盤プレート、ブルーのCVD文字盤プレート、ブラックPVD文字盤プレートの3つの限定エディション**

**- チタン製：グリーンのCVD文字盤プレートまたはアイシーブルーのCVD文字盤プレート**

**エンジン**

ステファン・マクドネルがMB&Fのために開発した完全一体型のパーペチュアルカレンダーは、文字盤側の複雑機構と安全装置付き機械処理装置を内蔵したアーキテクチャーとなっています。2つのメインスプリングバレルを搭載した手巻き式。 ムーブメント上部に従来型調整スクリューを備えた、専用の直径14mmのテン輪。全体的に19世紀のスタイルを踏襲した最高級の手仕上げ。面取り加工を施した内部の縁（手作業で研磨）。研磨した面取り部。コート・ド・ジュネーブ仕上げ。手作業によるエングレービング。

スーパールミノバを塗布した数字と針（閏年とパワーリザーブを除く）を備えたガルバニック仕上げブラックの文字盤。

フレックスリング：ケースとムーブメントの間に取り付けられたリング状の緩衝装置で、縦横方向に衝撃から保護

ねじ込み式リューズ
パワーリザーブ：72時間

テンプの振動数：18,000 振動 / 2.5Hz

部品数：581

石数：41

**機能 / 表示**

時、分、曜日、日、月、レトログラード式閏年、パワーリザーブインジケーター

**ケース**

素材：ジルコニウムまたはチタン

サイズ：44 x 17.5mm

部品数：70

防水性能：8ATM / 80m / 270フィート

**サファイアクリスタル**

上面とディスプレイ背面のサファイアクリスタルは両面に反射防止コーティング加工あり

**ストラップ＆バックル**

ラバーストラップ＆チタン製フォールディングバックル

**レガシー・マシン** **パーペチュアル エヴォの**

**フレンズ**

**コンセプト：**マキシミリアン・ブッサー（MB&F）

**デザイン**：エリック・ジルー（Through the Looking Glass）

**技術・製造管理**：セルジュ・クリクノフ（MB&F）

**ムーブメントデザインと仕上げ仕様**：ステファン・マクドネル、MB&F

**ムーブメント開発**：ステファン・マクドネル、MB&F

**研究開発**：トマ・ロレンザト、ピエール＝アレクサンドル・ガメ、ロバン・コトレル（MB&F）

**歯車、ピニオン、軸**：ジャン＝フランソワ・モジョン（Chronode）、Atokalpa、ポール＝アンドレ・タンドン（Bandi）、ダニエル・ギュミ（Decobar Swiss）、ロドリグ・ボーム（HorloFab）、DMP、Le Temps Retrouvé

**テン輪**：アンドレアス・クルト（Precision Engineering）、バンジャマン・シニュード（AMECAP）、マルク・ボリス（2B8）

**香箱**：ステファン・シュワブ（Schwab-Feller）、Swiss Manufacturing

**パーペチュアルカレンダーのパーツ**：アラン・ぺレ（Elefil）

**ムーブメント手彫り**：Glypto

**FlexRing**：Laser Automation

**ムーブメント部品手仕上げ**：ジャック＝アドリアン・ロシャ、デニス･ガルシア（C.-L. Rochat）

**PVD/CVD加工**：ピエール＝アルベール・ステインマン（Positive Coating）

**ムーブメント組み立て**： ディディエ・デュマ、ジョルジュ・ヴェイジー、アンヌ・ギテ、エマニュエル・メートル、アンリ・ポルトブフ、マチュー・ルクルトル、アマンディーヌ・バスクル、ロイック・ロベール＝ニクー（MB&F）

**アフターサービス**：アントニー・モレノ（MB&F）

**品質管理**：シリル・ファレ、ジェニファー・ロングペ（MB&F）

**ケースとムーブメント部品**：アラン・ルマルシャン、ロマン・カンプロ、ジャン＝バティスト・プレト、ステファニー・カルヴァロ＝コレイア、アルセーヌ・フートン（MB&F）

**ケース装飾**：サンドラ・ランベール（Bripoli）

**文字盤**：ハサン・シャイバ、ヴィルジニー・デュヴァル（La Montre Hermès SA）

**ダイアル上のスーパールミノバ**：フレデリック・ティエリー（Monyco）

**バックル**：G&F Chatelain

**リューズとコレクター**：Cheval Frères

**針**：Waeber HMS

**サファイアクリスタル**：Stettler

**サファイアクリスタルの反射防止加工**：アントニー・シュワブ（Econorm）

**ストラップ**：ティエリー・ロニョン（Valiance）

**化粧箱**：オリヴィエ・ベルトン（Soixanteetonze）

**プロダクションロジスティックス**：アシュレイ・ムシエ、ティボー・ジョアナール、ダヴィド・ガヴォット、ジャン＝リュック・リュエル、マリリン・ルヴェック、エミリー・ビュルニエ（MB&F）

**マーケティングおよび広報**：シャリス・ヤディガログルー、ヴァネッサ・アンドレ、アルノー・レジュレ、ポール・ゲ、タルヤ・ラカン（MB&F）
**グラフィックデザイン**：シドニー・ベイ（MB&F）

**M.A.D.ギャラリー**：エルヴェ・エティエンヌ、マルゴ・ディオニジオ＝セラ（MB&F）

**販売**：ティボー・ヴェルドンク、ヴィルジニー・マルション、セドリック・ルーセル、ジャン＝マルク・ボリー、オーギュスタン・シヴォ（MB&F）

**テキスト**：スザンヌ・ウォン（Worldtempus） **製品撮影**：ローラン＝グザビエ・ムーラン、アレックス・トイスチャー

**ポートレート撮影**：レジス・ゴレ（Federal）

**映像**：マルク＝アンドレ・デシュー（MAD LUX）、Brosky Media

**ウェブサイト**：ステファン・バレ（Idéative）

**MB&F – コンセプトラボの誕生**

2005年に設立されたMB&Fは、世界初の時計製作専門コンセプトラボとして傑出した創造性を誇ります。ブランドはこれまでに20種類以上の秀逸なキャリバーを開発し、それらをベースにして製作されたオロロジカル・マシンとレガシー・マシンは高い評価を得てきました。そして現在も、創業者でありクリエイティブディレクターでもあるマキシミリアン・ブッサーのビジョンに基づき、従来の時計作りの殻を破ってキネティックアートを思わせる立体感豊かな作品を生み出し続けています。

マキシミリアン・ブッサーは15年間にわたり高級腕時計ブランドをマネージング。2005年ハリー・ウィンストンのマネージングディレクターの職を辞し、MB&F（マキシミリアン・ブッサー＆フレンズ）を創立しました。MB&Fは、ブッサーが尊敬し、働く喜びを分かち合うことのできる才能あるオロロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプト・ウォッチのデザインと小規模生産を行う芸術的なマイクロエンジニアリング・ラボです。

2007年、MB&Fは初のオロロジカルマシーンであるHM1を世に送り出しました。HM1の彫刻の様な立体的なケースと美しく仕上げたエンジン（ムーブメント）は、その後のブランド特有のオロロジカルマシーンの基準となりました。全てのマシーンは時を告げるためというより、時を語るマシーンなのです。こうして製作されたオロロジカルマシンでは、宇宙（HM2、HM3、HM6）や大空（HM4、HM9）、道（HM5、HMX、HM8）、動物王国（HM7、HM10）を探索するマシンがイメージされています。

2011年には、MB&Fはラウンドケースのレガシーマシン・コレクションを発表。これらはMB&Fにとってよりクラシカルなものです。現代的な芸術品を創作するために往年の偉大な時計製造革新者とは異なる視点で複雑機構を解釈し、19世紀の腕時計製造の卓越性への敬意を払っています。LM1 及びLM2に続いて発表されたLM101は、全て自社開発したムーブメントを搭載する初のMB&Fマシン。そして、コレクションの幅をさらに広げるLM パーペチュアル、LM スプリットエスケープメント、LM サンダードームの登場。2019年は史上初のレディース用MB&Fマシン「LM フライングT」の制作によりターニングポイントを迎えました。2021年には、MB&Fはレガシー・マシン誕生10周年を記念してLMXを発表。MB&Fは現代的で型破りなオロロジカルマシーンと、歴史からインスパイアしたレガシーマシンを交互に発表しています。

MB&Fの「F」が「フレンズ」（Friends）を表していることから分かるように、優れたアーティストや時計職人、デザイナー、様々な分野の製造業者をブランドにとっての「友人たち」と考え、協力関係を築くことはごく自然な成り行きでした。

そうした姿勢がブランドにもたらしたのが、パフォーマンスアートとコラボレーション作品という新たな2つのジャンルでした。パフォーマンスアート・モデルは、創造性豊かな社外のフレンドがMB&Fのマシンをベースにしてアレンジを加え、新たな形で表現した作品。一方のコラボレーション作品は、腕時計ではなく別のタイプのマシンで、MB&Fのアイデアとデザインに基づいて独創的なスイスのマニュファクチュールが設計、製造を行います。レペ1839と共同で製作されたクロックなど、コラボレーション作品の多くは時間を知らせるマシンとなり、リュージュやカランダッシュとのコラボレーションでは別の種類のメカニカル・アートが創作されました。

ブッサーは、こうして誕生したあらゆるマシンにその魅力を発揮できる舞台を与えるため、従来型のブティックに陳列するのではなく、他のアーティストによる多彩なメカニカル・アートとともにアートギャラリーに展示することを思いつきました。このアイデアにより、ジュネーブに最初のMB&F M.A.D.ギャラリーが設立され（「M.A.D.」はMechanical Art Devices：メカニカル・アート・デバイスの略）、その後台北、ドバイ、香港にもM.A.D.ギャラリーがオープンしました。

MB&Fがこれまでに成し遂げた革新的な成果に対しては、いくつもの権威ある賞が与えられてきました。いくつか例を挙げると、名高い「ジュネーブ ウォッチ グランプリ」においては、その年の最も優れた時計に授与される最高賞「金の針賞（エギュイユ・ドール）」を含めた、9つものグランプリを獲得しています。2022年、LM シーケンシャル エヴォが「金の針賞」を受賞。またM.A.D.1 レッドが「チャレンジウォッチ賞」を受賞しました。2021年にはLMXが「ベスト メンズ コンプリケーション賞」を、そしてLM スプリットエスケープメント エディ・ジャケ「Around The World in Eighty Days」が「アーティスティック・クラフト賞」を受賞。2019年にはLM フライングTが「ベスト レディース コンプリケーション賞」を受賞し、2016年にはレガシー・マシン・パーペチュアルが「ベスト カレンダー ウォッチ賞」を、2012年にはレガシー・マシン No.1が「パブリック賞（時計ファンによる投票）」と「最優秀メンズウォッチ賞（プロの審査員による投票）」をダブル受賞しました。また2010年には、HM4サンダーボルトで「最優秀コンセプト＆デザインウォッチ賞」を受賞。さらに2015年には、HM6スペースパイレートが国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最優秀賞である「レッドドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞しています。